

第18回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成22年11月24日(水)10時00分～11時10分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 出席者 藤井座長、大杉委員、渡邊委員
(財)自動車リサイクル促進センター事務局
経済産業省・環境省担当官
4. 議題 平成22年度上期離島対策等支援事業 実績報告
平成23年度離島対策等支援事業 資金出えん計画(案)
5. 議事録 上記議題について、事務局より説明し承認された。

主な質疑・意見は次ページをご覧ください

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの説明

1)平成22年度上期離島対策等支援事業実績報告

- ◇ 当初計画に対し変更があったとのことだが、どういう理由で変更されたのか確認したい。
- ◆ 計画した荷姿を変更したことにより運賃が変更となった場合や、新規に事業者が本事業に参画し新たな運用(運賃、荷姿、航路)が追加された場合に、市町村から変更計画を提出いただいている。
- ◇ 中核事業者が機能し始めたのはどういう事情か、具体的に見えている部分があるのか確認したい。
- ◆ 本事業の活用促進を目的に、平成19年度より島内で中心となって事業を牽引する事業者の市町村による育成を支援している。多くの市町村で当該事業者が中核となり、事業が活用され始めている。上期の申請において、大規模・中規模離島で育成した事業者からの申請が多く見られることから、機能し始めたと考えている。

2)平成23年度離島対策等支援事業 資金出えん計画(案)

(1)離島対策支援事業

- ◇ 平成22年度上期申請実績は約16千台だが、年間の申請台数の見込みは、どれくらいと考えているか。
- ◆ 24～25千台と考えている。本年度上期は、国の自動車購入に関する支援制度が後押ししたことや、前年度下期から島内に留まっていた使用済自動車等が鉄スクラップ市況の回復により処理された結果、前年度に比べ大幅な申請の増加に繋がったと思われる。一方、下期はエコカー補助金が終了し、どれくらいの期間その影響が続くか分からない。例年下期に申請のペースが落ちるため、下期申請は8千台前後と見通している。

- ◇ 平成23年度の計画台数は前年度に比べ随分減少しているが、どのようなプロセスで計画が検討されているか確認したい。
- ◆ 市町村では、現状の把握を行なったうえで、事業者へのヒアリングや過去の申請実績を勘案し、事業計画を策定している。また、平成19年度より当センターにおいても市町村に対し情報提供を実施し、計画台数の精度向上に努めている。いくつかの市町村では、過去の執行率が低かったため予算計上にあたり大幅な見直しが行なわれ、結果として平成23年度は、66市町村で見直しが実施された。
- ◇ 単価変動の要因については、これまで平均単価でのみ説明を受けてきたが、今回から車種毎の個別単価で説明をしている理由はあるのか。
- ◆ 今までは平均単価で事業を見てきたが、平均単価では個別の事情が隠れてしまうので、今後は個別単価も見ていく。
- ◇ 要請における最高単価28万円は別紙で確認できるか。
- ◆ 資料上では、全市町村における個別の単価を公開することはしていないため確認はできない。単価は、個別の契約によるものであるため、第三者である当センターとしては公開していない。

(2) 不法投棄等対策支援事業

- ◇ 不法投棄・不適正保管についてポテンシャルは把握できるのか。
- ◆ ポテンシャルは把握できないため、定期的に調査し確認に努めている。

以上